



2018年6月10日 御報恩御講・創立記念御会社の様子



慧光山 法遍寺(えこうざん ほうへんじ)について 住職 近藤道正

法遍寺は静岡県富士宮市にある「多宝富士大日蓮華山大石寺」を総本山とする日蓮正宗の寺院です。日蓮大聖人様の正しき信仰を人々に弘め、ここ愛知地域の全ての人々が真の幸せをつかむ為に、総本山第67世日顕上人が開基となつて、昭和57年6月18日法遍院として設立され、平成20年12月23日には改築され、法遍寺となりました。日蓮大聖人の出世の本懐である三大秘法の大御本尊に帰依(きえ)し、破邪顕正の布教活動をさせていただいております。

### ① 講中のみなさまへ

大聖人は開目抄に、「人をあだ(怨)むことなかれ。眼あらば経文に我が身をあ(合)わせよ」(御書 568頁)と仰せです。「あだむ」とは恨むということです。人を恨めば、仏道修行によって積んだ功德の一切を無にし、さらに退転に運ばれます。人をあだむ所には原因の如何を問わずその人の善根が失われ、次、その次と「あだむ心」を生ぜしめて、いつの時か人からあだを向けられるようになります。あだむという感情の持続と強化は、その人の心から一切のエネルギーを無くし、遂にはその人自身の体を痛めつけます。つまり「怨念」とは自らの心身を消失させる恐るべき魔物なのです。あだむ心を消滅させる力は朝夕の勤行・唱題と折伏の実践にあります。折伏という妙法弘宣の功德から境界を高めていきましょう。

### ② 創価学会に籍を置くみなさまへ

創価学会では「御本尊根本」という言葉を標榜しますが、これは御歴代上人に伝わる血脈相承の大事を否定し、会員の意識を日蓮正宗から切り離すために言い出した言葉です。かつて創価学会は『折伏教典』に「富士大石寺に背く謗法のやからがもつご真筆の御本尊には、大聖人の御魂は住まわれるわけがない」(340頁)と解説し、たとえ日蓮大聖人の御真筆曼荼羅であっても富士大石寺の血脈から離れたものには大聖人の心は宿らないといっていました。ところが現在は「もはや御本尊はどれも同じ」といい、日寛上人の御本尊と称する精巧なコピー版ニセ本尊を作製し取り替えさせています。これは日蓮大聖人の仏法に違背する行為であり、ここに魔性の害毒があることを知ってください。

### ③ 正しい宗教に関心のある皆様へ

無神論や無信論とは、宗教的な絶対者や絶対力の存在を認めないことをいいます。たしかに、殆どの宗教で説く神や仏は現実にこの世に出現したこともなく、因果の道理に外れた空想の産物ですから、このように強く思うのも無理からぬことかもしれません。キリスト教でいう神などは「いると思う人には存在する」矛盾に満ちた空想の代表といえましょう。しかしあなたが仏教に耳を傾けず狭小な体験や憶測で評価するものであれば、それは残念なことです。日蓮大聖人の仏法は因果の理法を基底として、世間の姿と人間の生命の真実の相(すがた)を教えます。どうか謙虚な心で仏法の教えを乞い、仏道を求めてくださることを祈ります。生きる力と喜びはすなわち結果です。お待ちしております。

# 法遍寺 から大切な 皆様へ

2018年7月1日

日蓮正宗 年間方針

## 行動の年

法遍寺・天晴寺支部活動方針

### 人材育成

### 勇猛果敢の折伏

### 年間実践テーマ

① 勤行・唱題で折伏達成

### 功德の源泉

② みんなで声かけ御講参詣

### 罪障消滅と

### 折伏成就

③ 支部総登山で育成推進

### 心身浄化と

### 功德無量

〒488-0881

愛知県尾張旭市城山町三ツ池6075-1

(TEL:0561-54-9226)

相談無料